

向こう3か月の天候の見通し 東北地方 11月～1月

予報のポイント

- 11月は暖かい空気に覆われやすく、向こう3か月の気温は、平年並か高いでしょう。
- 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。
- 向こう3か月の東北日本海側の降雪量は、ほぼ平年並でしょう。

この時期の天候に影響の大きい北極振動の予想は難しく、現時点では考慮できていませんので、予報には不確実性があります。常に最新の1か月予報等をご覧ください。

3か月の平均気温・降水量・降雪量

		平均気温（3か月）	降水量（3か月）	降雪量（3か月）
東北	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	予報しません

↑
数値は予想される
出現確率です

平均気温（3か月）

降水量（3か月）

降雪量（3か月）

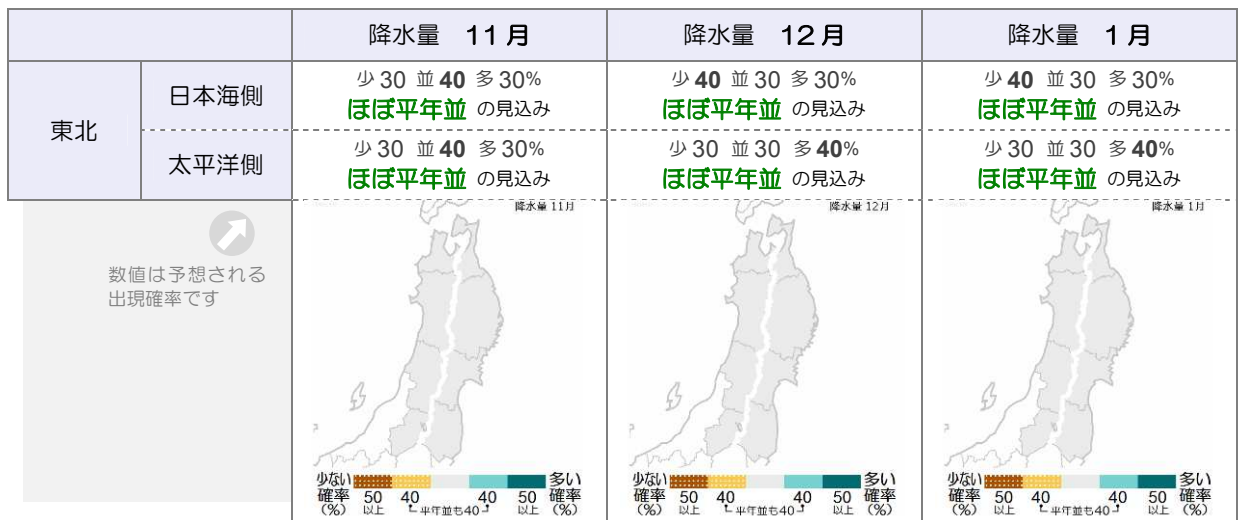
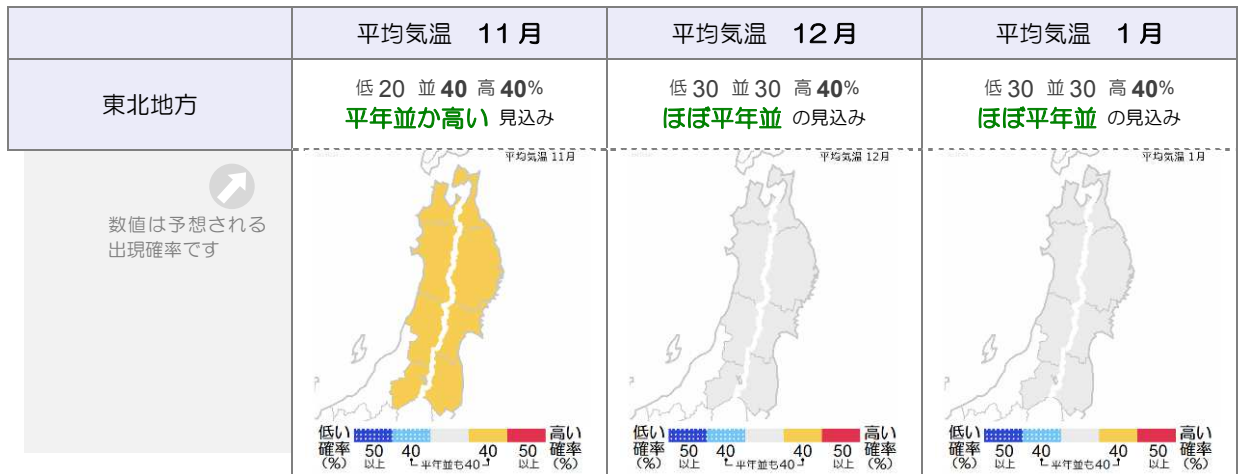
月別の天候

11月	12月	1月
<p>東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。</p> <p>東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。</p> <p>東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。</p> <p>東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

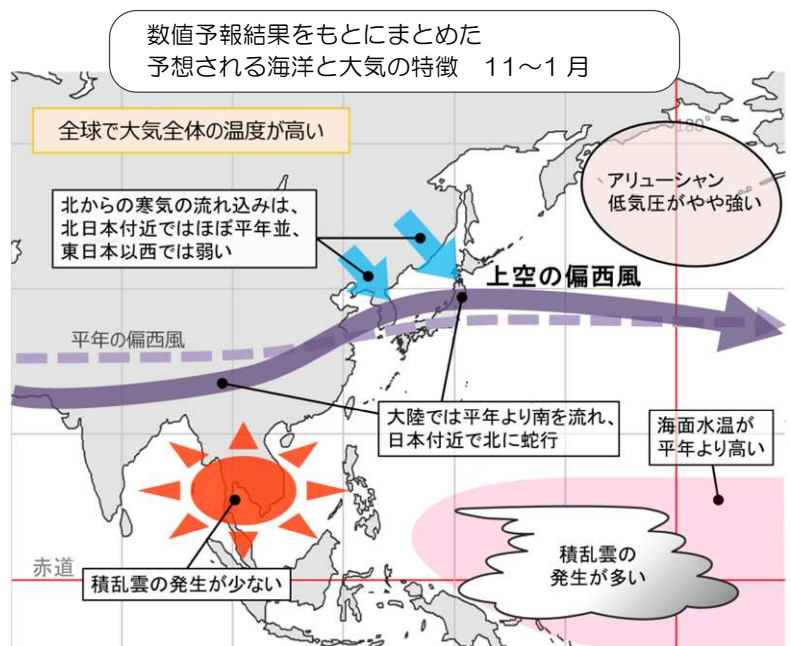
寒候期予報の見直しについて

新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月25日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。



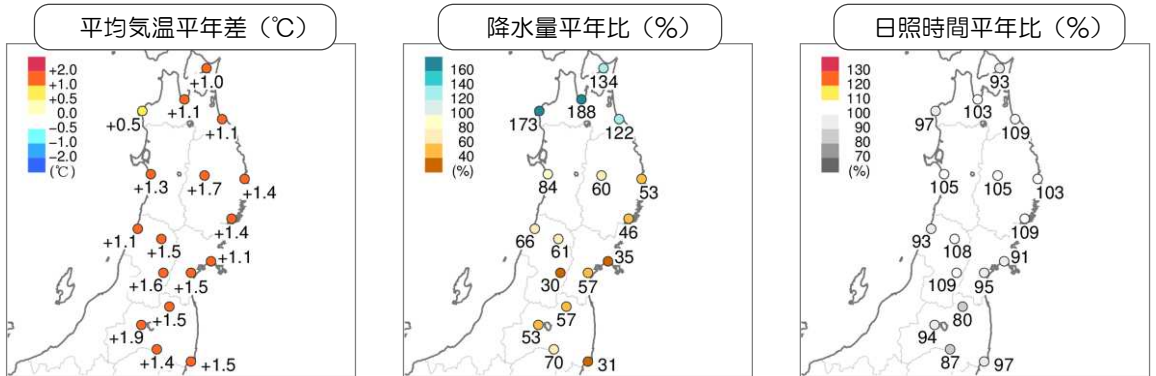
予想される海洋と大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯域では、ニューギニアの東から太平洋東部で海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多い見込みです。
- 一方、ベンガル湾から南シナ海では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空の偏西風は大陸では平年より南を流れる一方で、日本付近では北に蛇行し、東・西日本から沖縄・奄美では北からの寒気の流れ込みが弱いでしょう。
- アリューシャン低気圧は平年よりやや強く、これに近い北日本には平年とほぼ同程度に寒気の流れ込み見込みです。



今月の天候経過（実況） 10/1~20

この期間、天気は数日の周期で変わりましたが、1日は台風第24号の影響で東北部を中心に広い範囲で大雨となりました。11日は寒冷前線が通過した影響で青森県と秋田県で大雨となった所がありました。上旬から中旬のはじめにかけて暖かい空気に覆われたことから平均気温は平年を上回りました。降水量は東北部で平年を上回り、東北南部で平年を下回りました。日照時間は東北部で平年を上回り、東北南部で平年を下回りました。



(実況) 10/1~20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+1.3℃	78%	99%
東北日本海側	+1.3℃	94%	101%
東北太平洋側	+1.4℃	67%	97%
東北部	+1.2℃	108%	103%
東南部	+1.5℃	51%	95%

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
東北地方	平年差：-0.2~+0.4℃	平年差：-0.3~+0.5℃	平年差：-0.1~+0.4℃	平年差：-0.3~+0.7℃
東北日本海側	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：-0.3~+0.5℃	平年差：-0.2~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.6℃
東北太平洋側	平年差：-0.2~+0.4℃	平年差：-0.3~+0.5℃	平年差：-0.1~+0.4℃	平年差：-0.3~+0.7℃
秋田	3.4~3.9℃	7.6~8.4℃	2.8~3.2℃	-0.4~0.9℃
仙台	4.9~5.6℃	9.1~10.1℃	4.4~5.0℃	1.2~2.4℃

	降水量 3か月	降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月	降雪量 3か月
東北地方	平年比：85~114%	平年比：85~105%	平年比：74~97%	平年比：74~107%	平年比：80~116%
東北日本海側	平年比：95~108%	平年比：93~105%	平年比：91~105%	平年比：88~109%	平年比：85~111%
東北太平洋側	平年比：80~117%	平年比：69~113%	平年比：60~101%	平年比：57~116%	平年比：79~111%
秋田	426.1~506.2mm	167.1~194.2mm	144.1~174.0mm	102.3~130.0mm	198~242cm
仙台	93.1~169.2mm	40.1~69.0mm	18.3~33.2mm	15.3~45.7mm	23~39cm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981~2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	11月		12月		1月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
秋田	8.9日	18.1日	4.2日	21.4日	3.2日	21.2日
仙台	18.0日	6.2日	18.6日	4.7日	19.7日	5.3日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20:40:40)	平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	ほぼ平年並の見込み
(40:40:20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み